

学校法人 清風学園 理事長 清風中学校・清風高等学校 校長 平岡 宏一 先生

Interview

新年度を迎え、清風学園理事長を兼任する平岡宏一校長に学校のビジョンや教育方針について詳しく伺いました。岩峯会から奥野真英総務委員長と山田弘樹広報委員長、次年度広報委員長の川中佑哉氏が同席しました。

将来の国力となる人財を育成

山田 理事長ご就任に当たって、今後の清風学園のビジョンをお聞かせください。

平岡 大阪では中高一貫の男子校は46校から3校までに減少してしまいましたが、われわれはできる限り男子校としての運営を続ける予定です。学力や精神年齢に関しては男女の成長度合の差が激しく、男の子と女の子と一緒に同じ方法で教育することは難しいと考えており、男子に特化した教育というのがあるのではないかと考えています。

山田 清風の強みを教えていただけますか。

平岡 とことん生徒の面倒を見て卒業させる、というのが清風の考え方です。それは教育方法に自信を持っているから。他校よりも清風は抜群に面倒見が良いと思っています。例えばクラスで起こった問題や事故などを担任が1人で対応することはありません。必ず学年主任や生活指導、教頭、私の所にも

連絡が入ります。皆で考えて対応し、その日のうちに解決します。学校の方針としてとても大切にしています。保護者とは必ず対面で納得してもらえるように説明し、信頼関係を築くことが重要だと思っています。保護者からのクレームはほとんどありません。

川中 在学中、確かに長く揉めたり、保護者がクレームを言っているのを聞いたことがないです。

平岡 ある塾の先生によると、清風の生徒は母親にべったりな子が多いが、清風に入ったら見事に親離れるそうです。それが保護者間で評価されているとのこと。要因の1つとして、保護者との信頼関係が挙げられるのではないかと考えています。保護者の信頼を得るには先生方の考えが一致していないとうまくいきません。

山田 先生方の意識も高くなりますね。

平岡 大学進学というのが最終目的ではなく、社会で多くの人を幸せにする人を育てる教育をしたいと思っています。それについては先生方のコンセンサスを得ています。毎日の朝礼を通じて先生方と価値観を共有し、教育の質を向上させていま



す。生徒や保護者との関わりが多くなるため仕事はきついはずですが、先生の離職率が低く、安定した教育環境を提供しています。そういうところも清風の強さだと思っています。

川中 働き方が昔と変わってきて、若い世代はプライベートの中に仕事があるというような考え方をする人も多くなっています。さらに若い学生は今と昔で考え方が変わってきていると思いますか。

平岡 生徒は同じ価値観で教育しているので分かりませんが、若い先生は若干その傾向があるかもしれません。しかし、徐々に清風の先生らしくなっていきます。清風では教師の自主性を重んじて活動しています。クラブの顧問や休日勉強会は先生方が自主的に行っており、強制することはありません。また、先生方の生徒・保護者の皆さんへの対応業務や、補習についての時間外手当等の対応も行っています。100km歩行をはじめ清風ならではの行事も多いですが、先生方は教育に誇りを持って取り組んでいます。

奥野 子どもたちがSNSやYouTubeなどに影響されることが増えている現状をどうお考えですか。



左から山田弘樹広報委員長、川中佑哉氏、奥野真英総務委員長

平岡 規制が必要だと感じています。長時間やってもデメリットしかありません。学校の方針としては、最長1時間で止めるよう指導しています。保護者が子どもをコントロールするのは難しいので、学校側がメッセージを出すことで、保護者も子どもに注意しやすいでしょう。今の子どもたちはネットの情報で価値観を形成していて、自分の知りたい情報に偏ってしまいます。なかなか難しい時代ではありますが、「国力は人」ですので、人は育てていかないといけないと思っています。

山田 今日のお話を振り返って、印象に残ったのが朝礼のお話でした。先生も生徒もインプットを積み重ねて清風を作っていると言っても過言ではないという気がしました。

奥野 毎日のことでネタの創出が大変ですね。

平岡 朝礼のことを朝から晩まで考えているようなときがあります。大変ですが、私もいろいろな勉強ができますし、仏教の話もさせてもらいます。今朝は挨拶について話しました。挨拶は自分を伝えること。挨拶一つで相手に与える印象が全く変わってしまいます。朝、生徒たちは元気に挨拶してくれますが、とても気持ちが良い。なので外部から来校された方にも同じようにしてほしいと話しました。こ

うしたちょっとしたことでも耳を傾けてもらえるよう、内容を練って話をしています。

奥野 うちの子は1年間で挨拶ができるようになります。人の話をよく聞けるようになったと思います。

山田 われわれOBも校長先生のお話を聞けば素敵なので、何かいい方法がないか考えます。

奥野 卒業して10年、20年経つと、清風で教えられたことが大事だったとしみじみ感じます。本物にならないといけない時期に花開いてくる感じがします。

平岡 イスラエルの歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリ氏は、今後はAIの扱い方が大切になってくると言っています。私も同感です。猜疑心にあふれることなく、話し合っどうやってAIを規制していくかを考えなければなりません。人類の叡智を絞る必要があります。

これまで、多くの問題は条約などによって解決してきましたが、新しい時代をどうやって生きていかかも考えていかないといけません。日本では「国を守る」とか「国力」と言うと、すぐに個人の大切さを強調されますが、国力は武力ではなく教育です。日本を愛するということ＝右翼ではありません。日本のホスピタリティ、日本国民の質の高さが日本

保護者との信頼関係が重要

の最大の産業だと思います。インバウンドで多くの外国人が来るのが証拠で、そのことをわれわれ1人1人が自覚していかなければなりません。目先の損得ばかり考えていては、人は育ちません。

山田 AIを作る人間、使う人間もある程度教養と知識がなければ、AIに使われる人間になってしまいますからね。

平岡 少なくとも清風を選んでくださっている生徒や保護者は、清風が目指している方向や教育を理解してくださっています。そうである限り、今の教育を続けたいと思っています。

奥野 子どもの話を聞くと、清風ほど学校教育をよくやっている学校はないように感じます。

山田 最後にOB、学校の先生方、生徒に向けて一言お願いします。

平岡 生徒にはいつも言っているように、目先の損得でなく、自分が成長できるかということに価値観を置いて物事を選んでほしいし、難易度は上がったとしても多くの人の役に立てるかどうかで物事を判断できるようになってほしい。清風としては、そういう人財づくりをこれからもしていきたいと思っています。先生方が本当に一生懸命やってくれていて、良い学校だと確信しています。

1/1 拝賀式

2025年1月1日(水)清風学園にて恒例の拝賀式が執り行われ、在校生に加えた多くの卒業生も参列しました。

校長先生のお話を聞けて清々しい気持ちで新年を始められました。



1/14 修正会結願『どやどや』



2025年1月14日(火)、四天王寺修正会結願『どやどや』に参加いたしました。

当日は気温10度を下回る厳しい寒さの中、頑張る在校生たちの活気に元気をもらいました。



3/1 第77回 卒業証書授与式

2025年3月1日(土)、中央館3階の曼荼羅アリーナにて清風高等学校第77回卒業証書授与式が執り行われました。今年も無事に卒業証書を手にした、569名が清風高等学校を巣立ちました。

当日は春を感じる暖かな気候となり、平岡宏一校長から清風の生き方についてお話がありました。

皆様の今後益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

3/8 清風学園 二十歳の集い

2025年3月8日(土)夕刻、シェラトン都ホテル大阪にて清風学園二十歳の集いが開催されました。同窓会で開催のサポートをさせていただき、2023年3月に卒業した同窓生約200人が一堂に会しました。

卒業生代表の開会宣言の後、般若心経を唱える時間があり清風らしい始まりでした。校長先生から祝辞をいただき、乾杯の音頭は当時学年主任の八木先生。校長先生や当時担当してくださった先生方もお越しください、食事やレクリエーションなど楽しい時間になりました。

新成人の皆様、おめでとうございます。



3/13・14 恒例行事 第42回100km歩行



2025年3月13日(木)・14日(金)の2日間にわたり、100km歩行が開催されました。

大阪府にある学校から和歌山県の高野山奥之院・学園供養塔までを30時間以上かけて歩行する恒例行事。今年42回目になるこの恒例行事に、今年もたくさんの生徒たちが参加しました。

参加する生徒たちがこの行事を通じ、より一層成長されることを願っております。

4/1 令和7年度 入学式



2025年4月1日（火）、清風中学校及び清風高等学校の入学式が挙行され、新たな清風生が誕生しました。これからの学校生活がより良いものになり、皆様の輝かしい未来への礎となりますようお願いしています。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。



Relay Talk 5

第5回ゲスト 植木先生・竹田先生 「ストレス解消法」

リレートークとは、先生方や事務員の方などさまざまな清風学園を支える皆様にテーマに沿った寄稿をしていただき、次の寄稿者を紹介、リレーを繋ぐ企画です。

◆ 教頭 植木 久雄 先生 担当：数学

私の場合は解消ではなく、ストレスをためないようにはしています。では、実際どのようにしているかというと、まず怒らないことです。怒るとかなりのストレスを感じます。若い頃は感情にまかせて怒っていましたが、その後で必ず嫌な気分になり、ストレスを感じていました。ありのままを受け入れることで対処しています。

ありのままを受け入れる

次に、いつも自然体でいることです。これも若い頃、他人から少しでもよく見られたいと意識していましたが、その意識はとともストレスになっていました。

ありのままの自分でいいと考えるようになり、ストレスから解放されました。



右：竹田 裕彦 先生

◆ 竹田 裕彦 先生 担当：中学／英語科

学校は生徒、保護者、先生方の思いが渦巻く環境なので、ストレスがかかる場所ではありませんが、それを解消するために何かに取り組んだということはありません。

むしろ何事に対しても感謝の気持ちを忘れないように心がけることで、自分の中にストレスを感じる事がほとんどないのだと思います。

感謝の心がなくなると、責める心が膨らんで、

心はますます苦しくなってしまうので、たとえ良くない事が起きても、その状況に直面しているのはほかでもない自分なのだから、自分の成長にとって何か意味のあることと捉え、有り難いと思うようにしています。

感謝の気持ちを忘れない



植木先生・竹田先生のお二人より「ストレス解消法というテーマでご寄稿いただきました。次回のテーマは「私の卒業したい〇〇」です。バトンを受け取った方の寄稿をお楽しみに。

令和7年度 清風宏峯会 総会・懇親会

会 期 2025年6月21日(土)

時 間 16:00～ 総会 15:30受付開始

場 所 シェラトン都ホテル大阪

17:00～ 懇親会 16:30受付開始

総会 大和の間(西) スクール形式・ 懇親会 大和の間(東中) 立食形式

懇親会会費 一般 9,000円 / 学生 5,000円

※学生料金の適応は、30歳以下で大学、大学院、専門学校などに学生として所属している方を適応します。
※非会員の方でも参加可能ですが、当日受付にて会費を徴収の上、会員登録をしていただきます。
※2004年3月卒業以降の卒業生は、全卒業生が会員となっています。

参加登録、
詳細はコチラ
特設ページ >>



清風宏峯会 Web名簿システム
リニューアルのお知らせ



会員同士の繋がりをサポートするシステムが新しくなりました。情報登録をお願いいたします！

